

『放課後等デイサービス自己点検及び評価シート』

作成日： 令和5年 5月 26日

事業所名： マーブルプレワークス

		現在の取組内容・今後の改善目標（内容）
1 環境・体制整備	①支援内容にあった指導訓練室・相談スペース等の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・指導訓練室、相談スペースは隣のフロアに設置しており、児童も行き来しやすく必要に応じて利用できる環境になっている。 ・訓練室は学習、活動スペースと分けている。活動スペースの中にアフレコスペースも設置している。児童にも分かるようパーテーションで区切りを行うとともに視覚支援をしている。 ・訓練室内にクールダウンスペースを設けており、必要時に児童が休養できるような環境になっている。
	②職員の専門性・配置数 あい・さかいサポートリーダーの配置の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・現在支援員に、保育士、教員、児童指導員を配置し、各分野の専門性を活かした療育を実施している。 ・あい・さかいサポートリーダーの配置はない。
	③送迎体制・添乗員の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎は実施していない。利用開始直後は、練習のため中百舌鳥駅等から支援員と道を覚えながら登所している。
	④合理的配慮の視点に基づく環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物を極力減らし、落ち着いて過ごせるよう環境整備を行っている。 ・勉強スペースやアフレコスペースなど視覚でわかる情報の提示をしている。 ・リラックスできるスペースを設け、休暇の時間を過ごせるように配慮している。
	⑤職員の健康診断の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員対象に年1回実施。
2 業務改善	①アンケート等による利用児・保護者のニーズの把握とフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートを実施し、可能な範囲でのフィードバックを行っている。また、頂いた意見は支援員間で共有して改善に努めている。
	②職員の支援技術の向上・虐待防止等の研修 (障害児通所支援事業者育成事業利用の有無)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内で研修を開催したり研修を受けている。また、社外の研修にも参加し、支援員のスキルアップと支援技術の向上を図っている。 ・虐待防止研修も開催している。 ・障害児通所支援事業者育成事業の利用はしていない。
	③虐待防止等のための責任者を設置	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が虐待防止等のための責任者を担っている。

	④利用児、保護者からの苦情や意見への対応及び事業運営への反映	・児童、保護者からのご意見やご要望は真摯に受け止め、支援員全員で共有・確認するとともに改善に努めている。
3 適切な支援の提供	①児童発達支援管理責任者による放課後等デイサービス計画の作成（アセスメント・利用児及び保護者の意向確認・計画案の作成・会議開催・計画の保護者への説明及び交付）	・放課後等デイサービス計画は、児童発達支援管理責任者が決められた順序に沿って作成している。 ・日々、職員全員で課題や支援内容について共有し、計画の見直しに繋げている。 ・保護者面談を実施し、保護者と児童の意向を再度確認している。
	②モニタリングの実施、計画の見直し	・6ヵ月毎のモニタリングを行っている。 ・計画の見直しは、支援員間で日々の状況を改めて共有している。
	③個別の課題に対応した活動内容・プログラム	・毎日複数の活動内容（パソコン講座、軽作業、SSTなど）を提供しており、児童が自ら選択して活動できるよう支援している。
	④ミーティング等の実施	・毎朝実施。児童の情報共有や1日の活動内容を確認している。 ・適宜支援員全体でのミーティングも実施しており、支援内容や児童の対応について検討や共有をしている。
	⑤支援内容の記録	・複写式の連絡帳や業務日報に記録している。
4 関係機関との連携	①サービス担当者会議への参加（障害児相談支援事業所との連携）	・積極的に参加している。参加した際は後日、会議内容を支援員間で共有して療育に繋げている。 ・障害児相談支援事業所とも定期的な情報共有を行っている。
	②学校との連携	・状況によって保護者や相談員を通して学校との連絡を行い、様子を確認して児童の状況把握に努めている。
	③他の放課後等デイサービス事業所、障害福祉サービス事業所等との連携	・相談員を介して連携を取ったり、必要であれば他事業所や同グループ内の事業所間と情報共有を行っている。
	④（特に医療的ケアを必要とする利用児について）主治医や協力医療機関等との連携・連絡体制	・疾患やアレルギー、服薬状況は保護者より聞き取りを行い、支援員間で共有している。また、食物アレルギーに関する研修も年に一度実施している。 ・契約時に指定病院連絡体制を伝えている。

	<p>⑤学校を卒業する際の就労移行支援（引継ぎ等）、就学前施設との連携（情報共有・引継ぎ等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現段階で学校を卒業して就労する児童はいない。 ・ 今後、就労移行支援の必要な児童に対して実施していく。
	<p>⑥「あい・ふあいる」の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ あい・ふあいるを利用している保護者がいないため活用できていない。
5 保護者への説明責任等	<p>①事業所で実施している支援（支援内容、プログラムなどを記載してください。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコン講座や動画編集、軽作業を日々の活動の中に取り入れている。定期的に職業体験を実施し、就労に向けて経験を積んでいる。 ・ 児童主体のイベント開催を定期的に行っている。児童主体の会議を実施してイベントの内容を決定していったり、イベントに向けて準備を行ったりすることで児童の経験値の獲得に繋げている。 ・ 毎日個別スケジュールを児童自身で作成しており、スケジュールに沿った行動ができるよう支援している。 ・ 事業所内の玄関周りの活動や地域の公園へのお出かけ、事業所でのイベントに参加していただくなど、地域の方々との交流の機会を設けている。
	<p>②運営規程、支援内容、利用者負担の説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約時に、契約書類を提示しながら十分に時間を取って保護者に説明している。また、利用者負担の説明を行い、保護者からの質問にも対応している。
	<p>③保護者からの相談への適切な対応、必要な助言</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 懇談時など随時行っている。 ・ 必要に応じて関係機関に問い合わせを行い返答している。
	<p>④会報の発行等による活動内容や行事予定等の定期的な発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSにて日々の活動を発信している。 ・ 月間のイベント予定を配布したり、イベントに保護者を招待している。 ・ 月に一度グループ全体の会報を発行している。
	<p>⑤日々の支援内容、利用児の様子、おやつ等の保護者への報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡帳を通して児童の様子を報告している。 ・ 状況により電話連絡にて伝える場面もある。
	<p>⑥おやつ代等実費徴収している費用に係る領収書の発行、精算報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ おやつを提供を行っていない。その他の費用は、徴収後各家庭に領収書を発行して渡している。

	⑦身体拘束を行う場合の決定手順、利用児・保護者への説明、計画への記載	・契約時に保護者に契約書類を提示して説明している。
	⑧個人情報の適切な取扱い	・児童ごとに個人ファイルを用意し、個別支援計画やアセスメントシートなどの個人情報が記載された書類をまとめて鍵のかかるロッカーに保管している。
6 非常時の対応	①緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の整備と職員、保護者への周知	・各種マニュアルは作成し、支援員と内容を確認したうえで定位置に保管している。
	②非常災害の計画策定、避難・救出・その他必要な訓練の実施	・避難経路はだれでも確認できる壁に掲示している。 ・避難訓練の年間計画を策定し、計画に沿った内容を実施している。
	③ヒヤリハット、事故の事案を収集し再発防止等について事業所内において共有	・事例があればすぐに支援員間で共有し、具体的な改善策を検討して再発防止に繋げている。 ・ヒヤリハットの報告書を作成し、事案について記録を残している。
	④サービス提供中の事故を防ぐための取組等	・日々、考えられる事故への対策は事前に児童への導入をしている。 ・事業所内外両方での活動を行う場合は、支援員間での連携をより密に行っている。
	⑤感染症対策の実施	・机やイス、ドアノブなど共有部のアルコール消毒を行っている。 ・窓を開けて換気を常に行っている。 ・手洗いはペーパータオルを使用している。
7 その他	①地域との交流	・事業所内のスペースを使って花や野菜を育てており、気づいた地域の方々からお声掛けをいただき地域との関わりができています。 ・近隣のレンタルスペースを借り、地域の方々を招いて交流の機会を作っている。